

大泉・石神井・三原台周辺まちづくり に関するアンケート調査結果について

大泉ジャンクションの周辺に位置する大泉・石神井・三原台地区では、平成21年度に外かく環状道路が事業化されており、お住まいの地域の変化が予想されます。

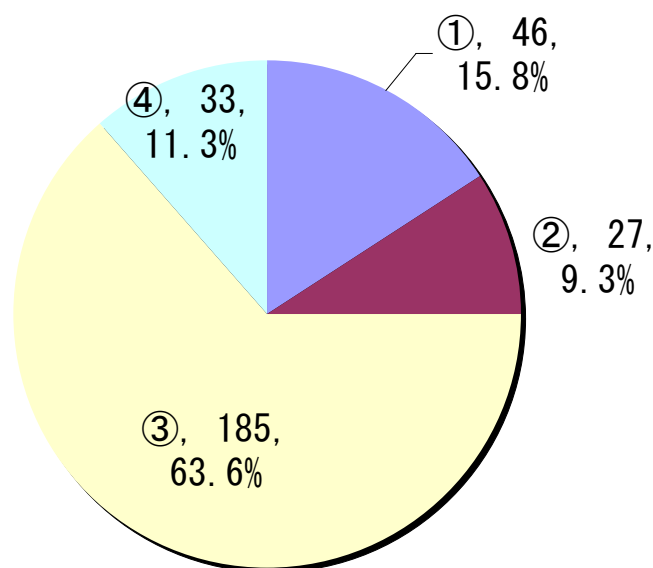
そこで、練馬区では予め地域の課題を把握し、この地域で生活を営まれている方々がまちづくりに取り組む際に優先的に配慮すべき事項を検討する材料の一つとするため、今年8月下旬から9月中旬の期間において地元にお住まいの区民の皆様（調査対象エリアの人口概ね26,870人）の中からも無作為に選んだおおむね1,000人の方を対象にアンケート調査を実施しました。（18歳以上の方を対象）

今回のまちづくりアンケート調査では区民の皆様から高い関心が示されており、回収率は約3割（295人）に至りました。

以下、ご回答いただきましたアンケートの結果についてご報告します。

1. 練馬区のまちづくりへの関心についてお聞きします。

1-1. 大泉・石神井・三原台周辺地区において練馬区が進めようとしているまちづくりの計画について、あなたがご存知の内容があれば確認させて下さい。



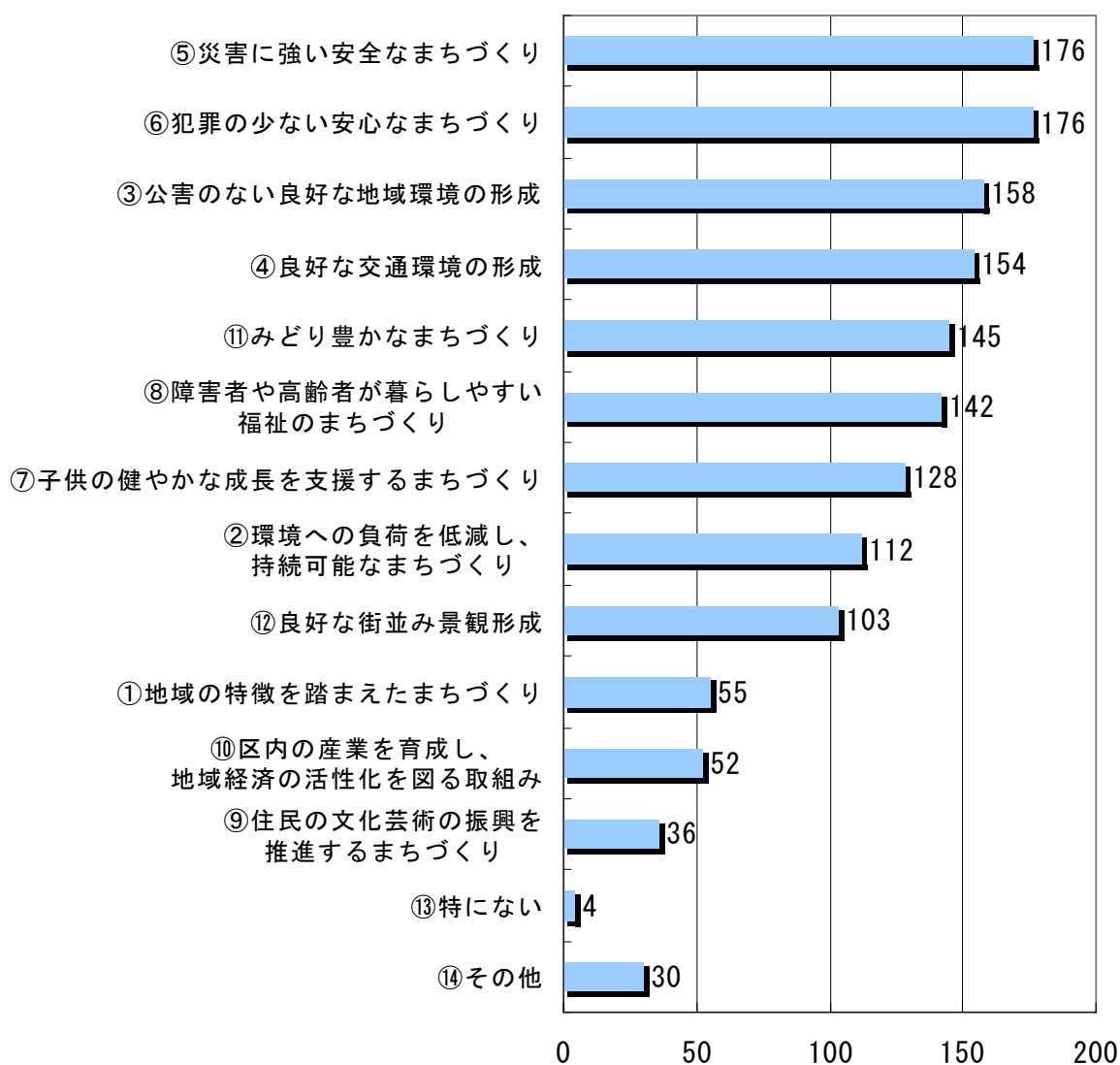
- ① 練馬区長期計画の施策の1つに「環境まちづくり分野」として位置づけられ、まちづくりの方向性が示されていることを知っている。
- ② 練馬区都市計画マスタープランの地域別指針において当該地域のまちづくりの方向性が示されていることを知っている。
- ③ 何も知らない。
- ④ その他

回収票数 295 件に対し、有効回答数は 291 件でした。

アンケートで伺った『練馬区長期計画』と『練馬区都市計画マスタープラン』は区の定めるまちづくりの上位計画ですが、どちらも知らないと回答した方が6割強という結果になりました。

練馬区では、今回の結果を真摯に受け止め、これまで以上にまちづくりの計画に関する情報について周知を図るよう努めていきます。

1-2. お住まいの地区のまちづくりに関する取組み内容について、関心がある事項を次の①～⑬の中から選んでください。(複数回答)



『まちづくりに関する取組み内容について、関心がある事項』は、関心の高い順に「⑤災害に強い安全なまちづくり」、「⑥犯罪の少ない安心なまちづくり」が同数で1位となりました。

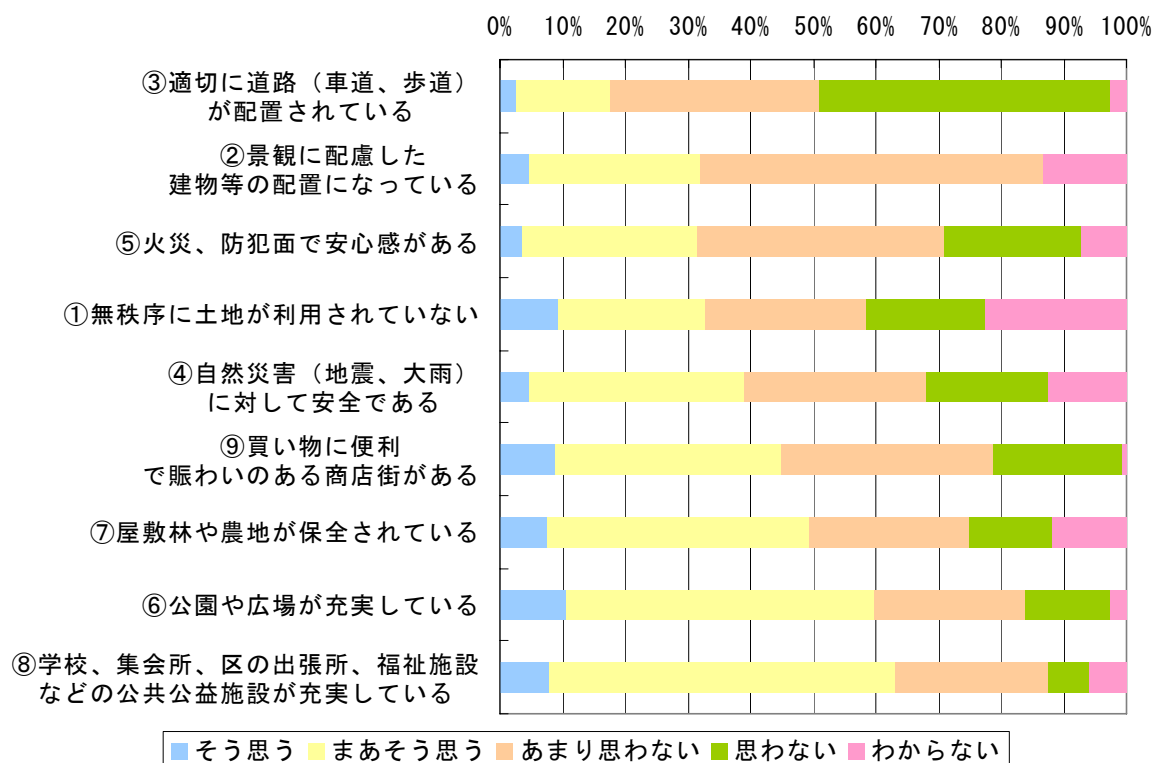
3位以下は、「③公害のない良好な地域環境の形成」、「④良好な交通環境の形成」、「⑪みどり豊かなまちづくり」と続いています。

この結果から、多くの方が安心・安全なまちづくりを求めていることがわかります。

2. 練馬区のまちづくりについてお聞きします。

2-1. 土地利用について

2-1-1. 現在の土地利用について感じていることを、次の①～⑩の項目について感じたことを選んでください。



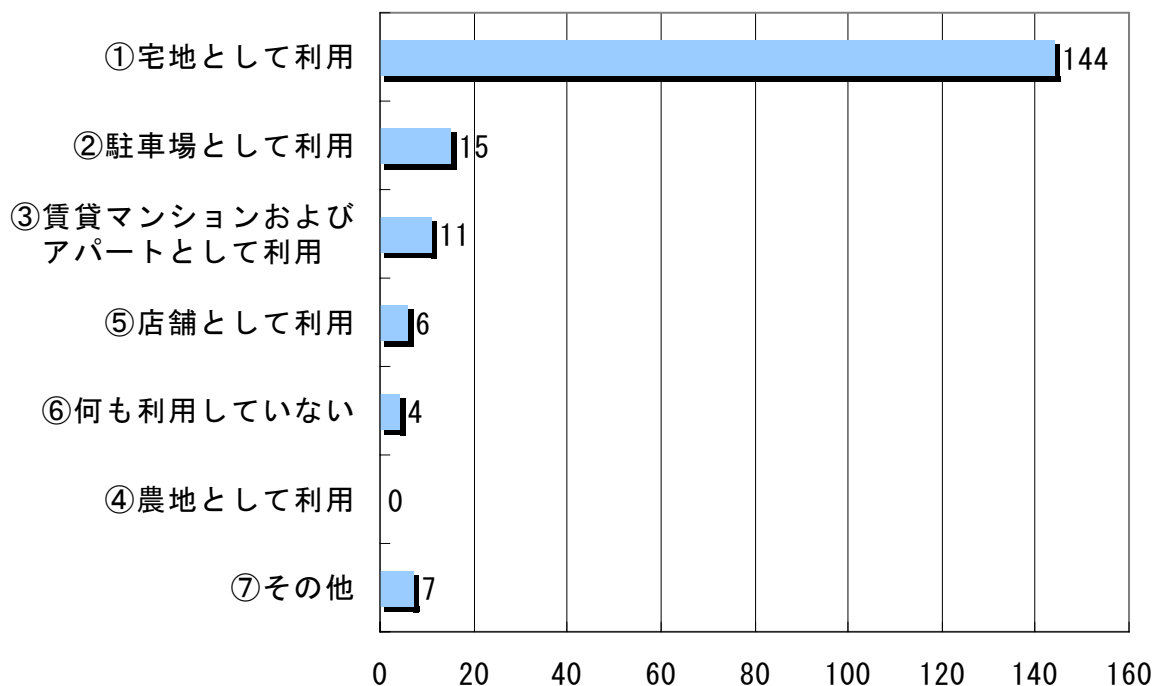
現在の土地利用について感じていることについて伺った内容を比較するため、「あまり思わない」、「思わない」、「わからない」という回答を合計した結果の多い順に並べて整理しました。

この結果、「③適切に道路（車道、歩道）が配置されている」、「⑤火災、防犯面で安心感がある」、「②景観に配慮した建物等の配置になっている」、「①無秩序に土地が利用されていない」、「④自然災害に対して安全である」、「⑨買い物に便利で賑わいのある商店街がある」の順に不満があると捉えることができました。

今後のまちづくりを検討する際には、適切な道路の配置や、防災・防犯性の向上などについて配慮し検討していきます。

2-1-2. 土地をお持ちの方にお伺いします。

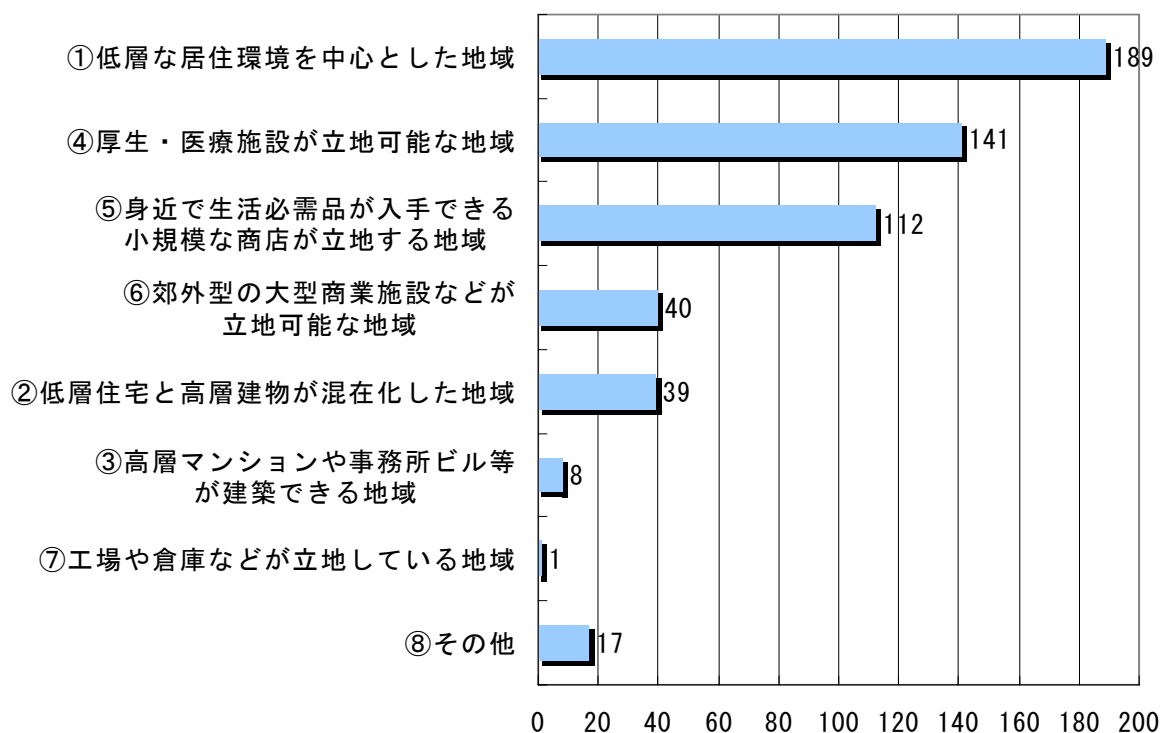
あなたは、現在お持ちの土地をどのように利用されていますか。
次の中から選んでください。(複数回答)



『所有する土地の利用』は、「①住宅地としての利用」が、圧倒的に多いという結果となりました。

この結果から、現状では多くの方は宅地として利用していることがわかります。

2-1-3. このアンケートの調査範囲においてお住まいのまちは、将来、どのような土地利用が望ましいと思いますか。次の中から選んでください。（複数回答）



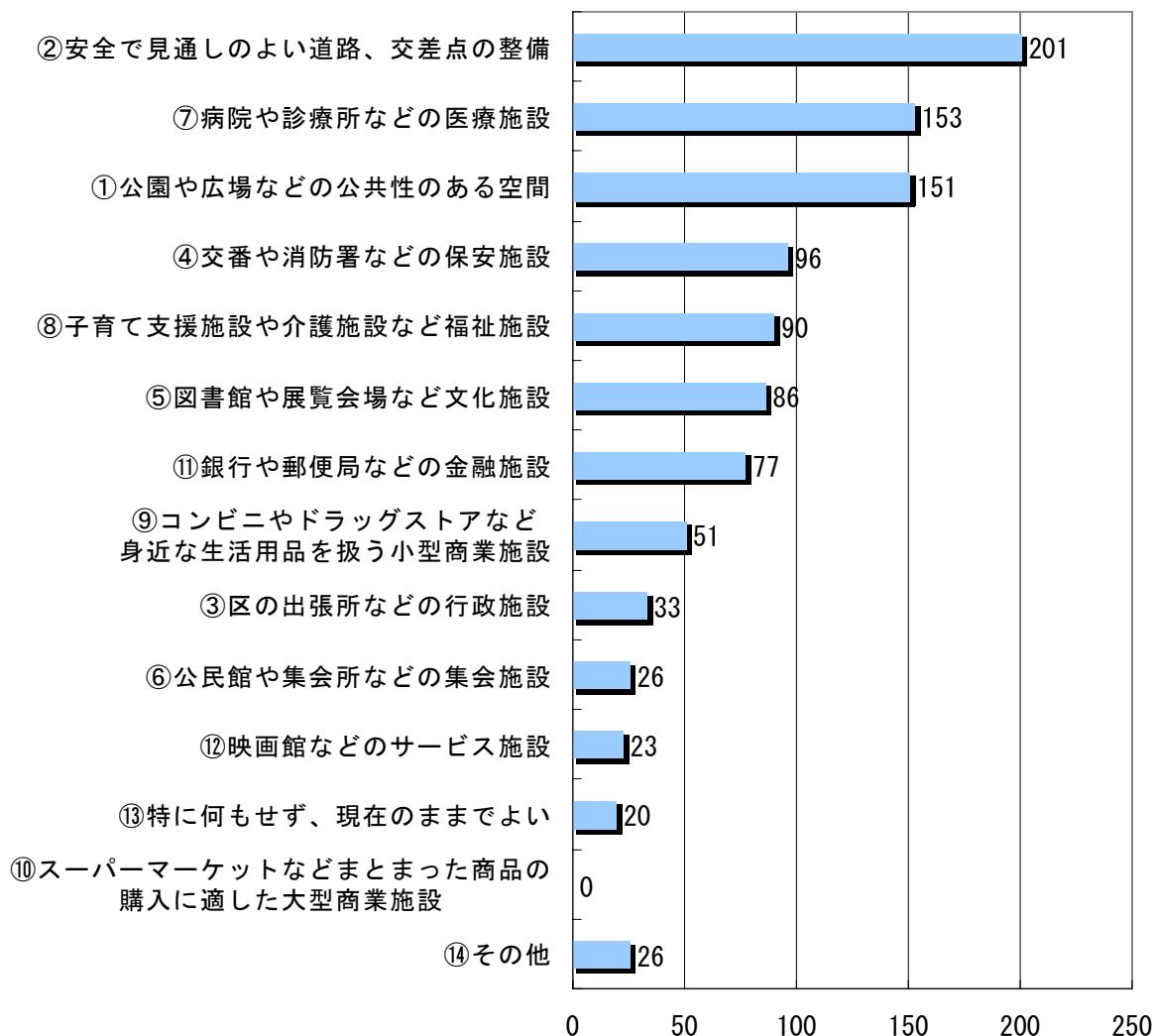
『将来、望ましいと考えている土地利用』は、「①低層な居住環境を中心とした地域」が一番多い結果となりました。

関心の高い順に2位以下は、「④厚生・医療施設が立地可能な地域」、「⑤身近で生活必需品が入手できる小規模な商店が立地する地域」と続きます。

この結果から、今後の土地利用計画の検討では低層な居住環境が求められていることがわかります。

また、厚生・医療施設、生活必需品が購入できる店舗など、生活環境の向上にも関心があることがわかります。

2-1-4. このアンケートの調査範囲において土地利用を見直し、計画する際に配慮すべき施設として重要であると思う施設を次の中から選んでください。（複数回答）



『土地利用を見直し、計画する際に配慮すべき施設として重要であると思う施設』は、「②安全で見通しのよい道路、交差点の整備」が一番多い結果となりました。

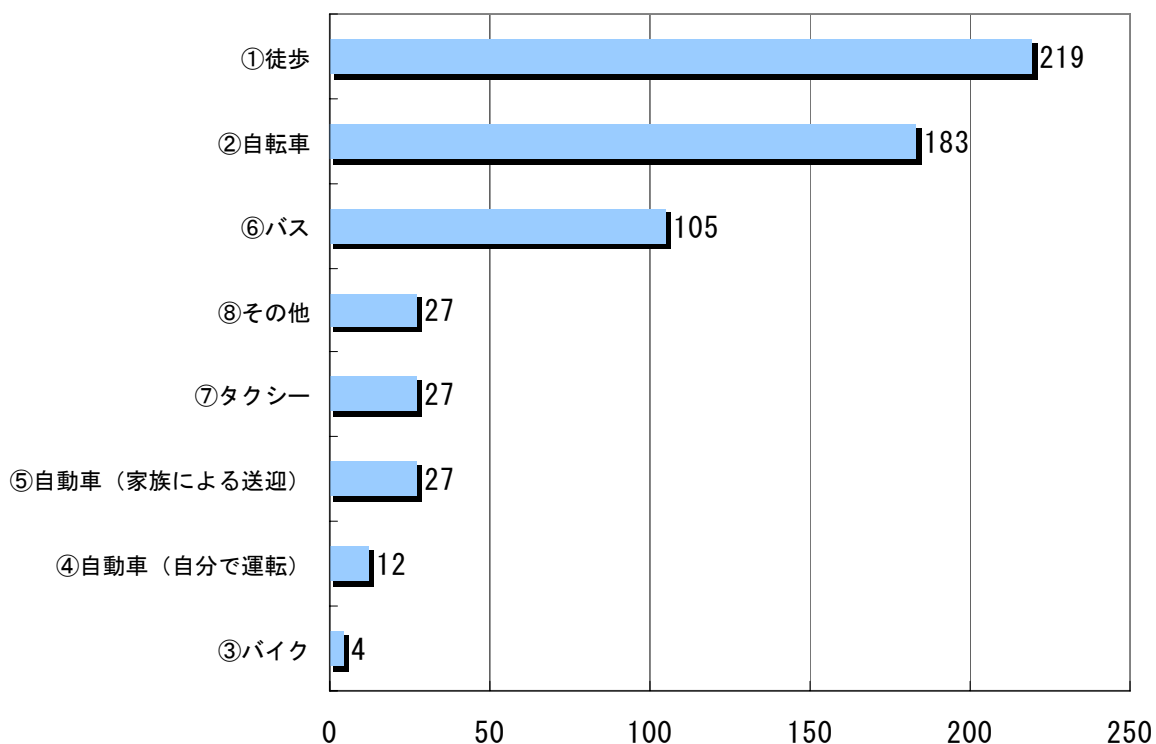
2位以下は、「⑦病院や診療所などの医療施設」「①公園や広場などの公共性のある空間」と続きます。

この結果から、土地利用計画の見直しでは安全な道路、交差点の整備が求められていることがわかります。

また、病院や診療所などの医療施設の充実をはかり、公共性のある空間を確保することにも関心があることがわかります。

2-2. 道路・交通環境について

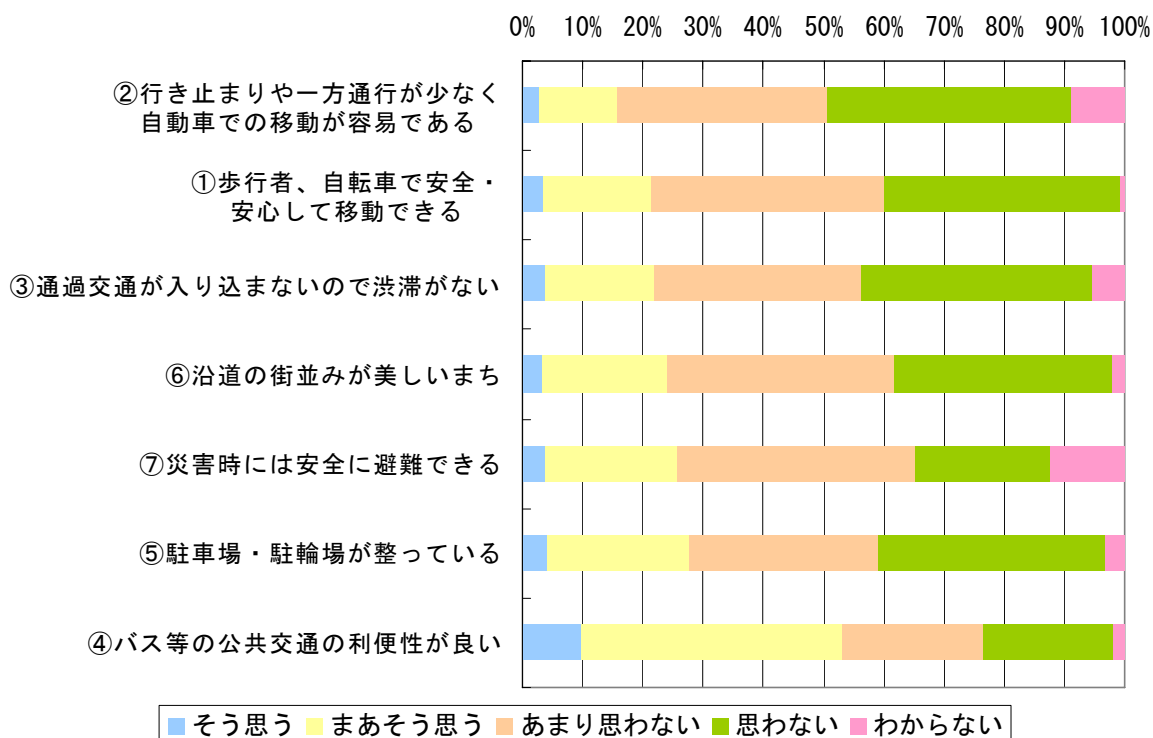
2-2-1. 適正な道路配置を検討するのに先立ち、現在、最寄りの駅までは移動している手段について次の中から選んでください。(複数回答)



『現在、最寄りの駅までは移動している手段』は、一番多いのが「①徒歩」、二番目が「②自転車」、三番目が「⑥バス」という結果になりました。

この結果から、今後、道路・交通環境についての検討では、歩行者や自転車利用者に配慮した整備の検討が求められていることがわかります。

2-2-2. このアンケートの調査範囲においてお住まいのまちの道路の利便性や快適性、安全性などについてどのように思われているか？



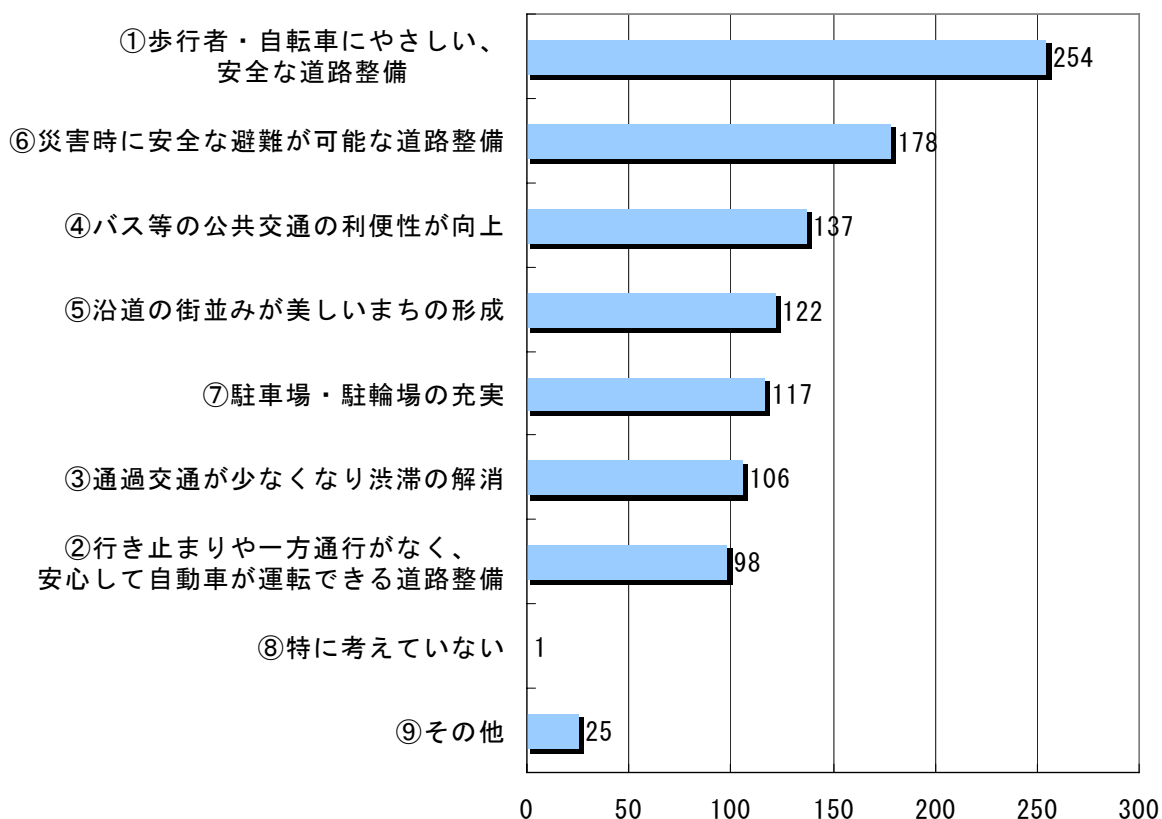
現在の道路・交通環境について感じていることについて伺った内容を比較するため、「あまり思わない」、「思わない」、「わからない」という回答を合計した結果の多い順に並べて整理しました。

この結果、「②行き止まりや一方通行が少なく自動車での移動が容易である」、「①歩行者、自転車で安全・安心して移動できる」、「③通過交通が入り込まないので渋滞がない」、「⑦災害時には安全に避難できる」、「⑥沿道の街並みが美しいまち」、「⑤駐車場・駐輪場が整っている」の順に不満があると捉えることが出来ました。

今後の道路・交通環境について検討する際には、道路整備における歩行者・自転車・自動車のそれぞれに配慮し検討していきます。

また、その際、災害時の避難想定も十分に配慮することが望まれています。

2-2-3. 今後、まちづくりを検討する際に道路整備の取組みで配慮すべき事項について次の中から選んでください。(複数回答)



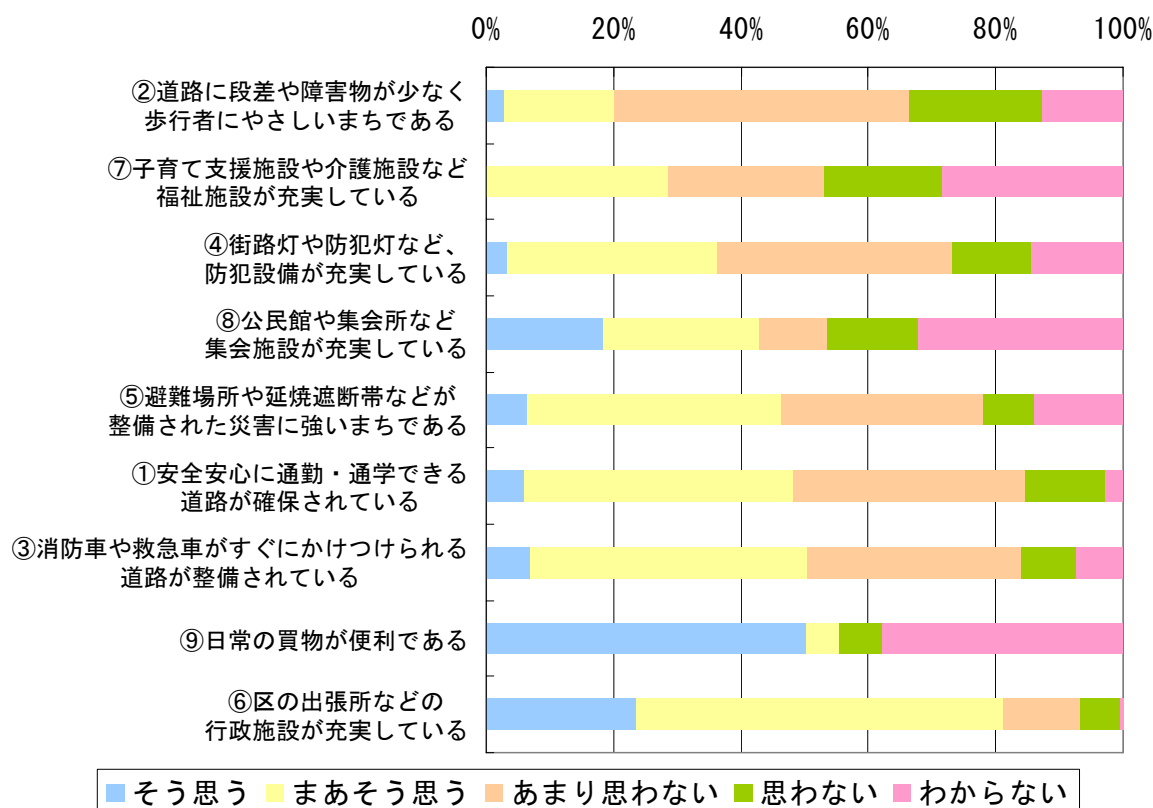
『まちづくりを検討する際に道路整備の取組みで配慮すべき事項』は、「①歩行者・自転車にやさしい、安全な道路整備」が一番多い結果となりました。

2位以下は、「⑥災害時に安全な避難が可能な道路整備」と続きます。

この結果から、道路・交通環境の取組みに関する見直しでは歩行者・自転車の通行の安全性と、災害時の利用を想定した整備の検討が求められていることがわかります。

2-3. 生活環境や防災について

2-3-1. このアンケートの調査範囲においてあなたがお住まいの地域の生活環境や防災に関する満足度について次の①～⑩の項目について該当するものを選んでください。

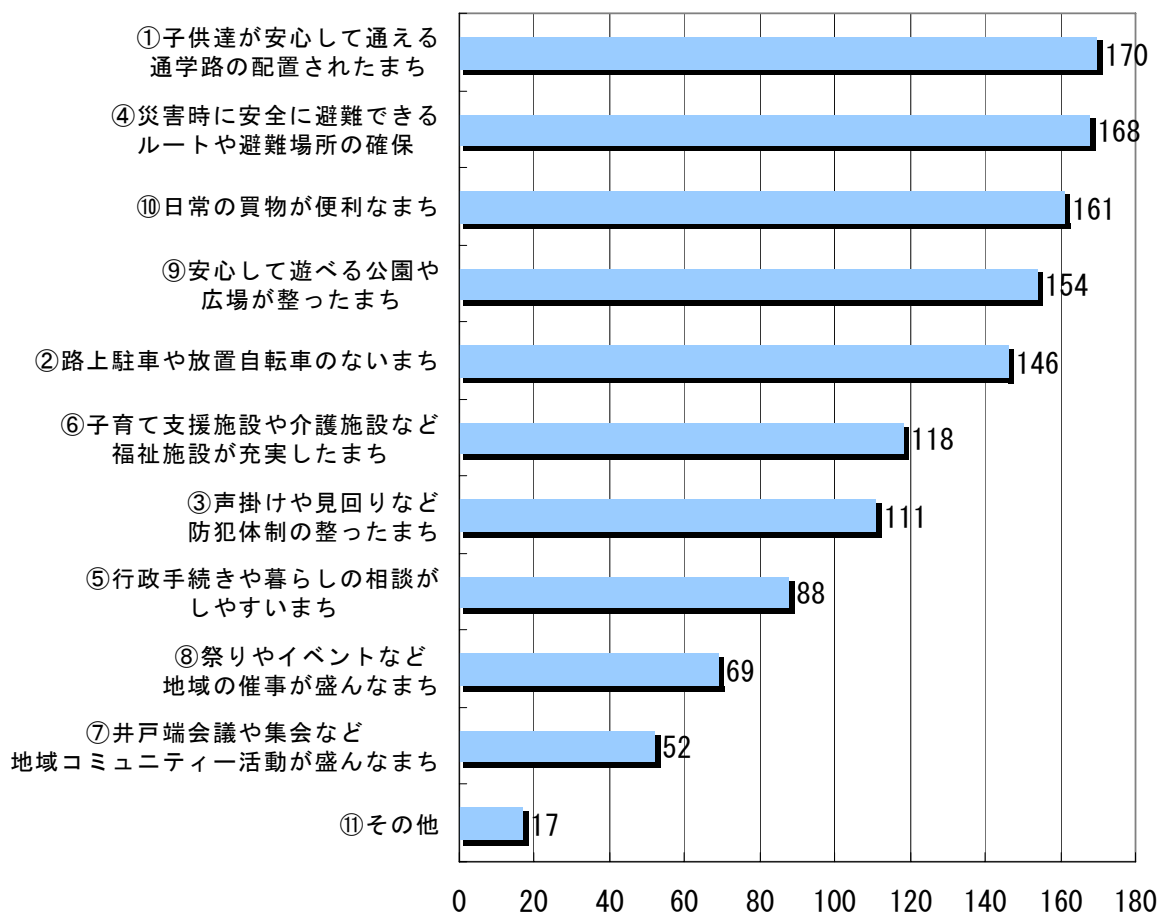


現在の生活環境や防災について感じていることについて伺った内容を比較するため、「あまり思わない」、「思わない」、「わからない」という回答を合計した結果の多い順に並べて整理しました。

この結果、「②道路に段差や障害物が少なく歩行者にやさしいまちである」、「⑦子育て支援施設や介護施設など福祉施設が充実している」、「④街路灯や防犯灯など、防犯設備が充実している」の順に不満があると捉えることが出来ました。

今後の生活環境や防災について検討する際には、歩行者への配慮した道路整備、福祉施設の誘致、道路における防犯対策等について配慮し検討していきます。

2-3-2. このアンケートの調査範囲においてあなたが住まいの地域の将来において、どのような生活環境や防災が整っていれば良いと望みますか。次の中から選んでください。（複数回答）



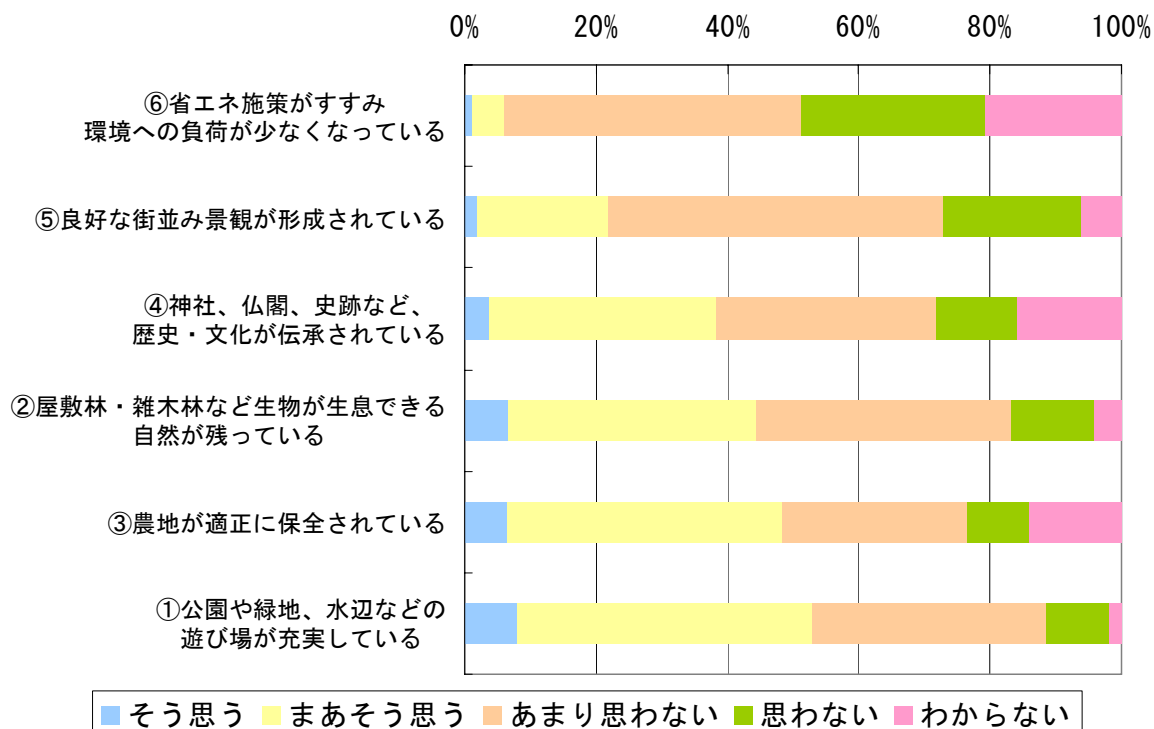
『お住まいの地域の将来において、どのような生活環境や防災が整っていれば良いと望んでいるか？』について伺ったところ、「①子供達が安心して通える通学路の配置されたまち」が一番多い結果となりました。

2位以下は、「④災害時に安全に避難できるルートや避難場所の確保」、「⑩日常の買物が便利なまち」、「⑨安心して遊べる公園や広場が整ったまち」、「②路上駐車や放置地電車のないまち」と続きます。

この結果から、生活環境や防災の取組みに関する見直しでは子供の安全、災害時の避難、日常の利便性、公園や広場の整備、路上駐車や放置自転車等の検討が求められていることがわかります。

2-4. 都市環境について

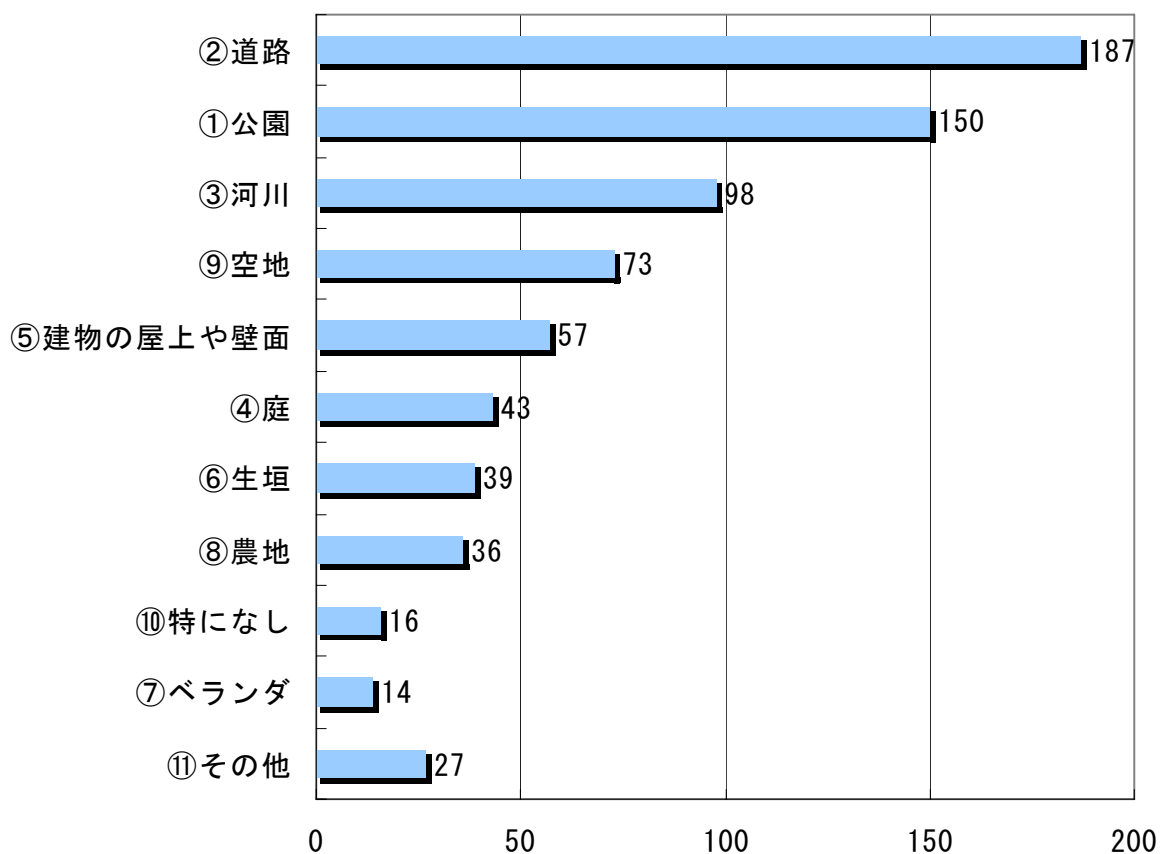
2-4-1. このアンケートの調査範囲においてあなたがお住まいの地域の都市環境に関する満足度について次の①～⑥の項目について該当するものを選んでください。



現在の都市環境について感じていることについて伺った内容を比較するため、「あまり思わない」、「思わない」、「わからない」という回答を合計した結果の多い順に並べて整理しました。

この結果、「⑥省エネ施策がすすみ環境への負荷が少なくなっている」、「⑤良好な街並み景観が形成されている」、「④寺社、仏閣、史跡など歴史・文化が伝承されている」の順に不満があると捉えることが出来ました。

2-4-2. このアンケートの調査範囲においてあなたがお住まいの地域で、どこに緑を増やし充実すべきだと思いますか。次の中から選んでください。(複数回答)

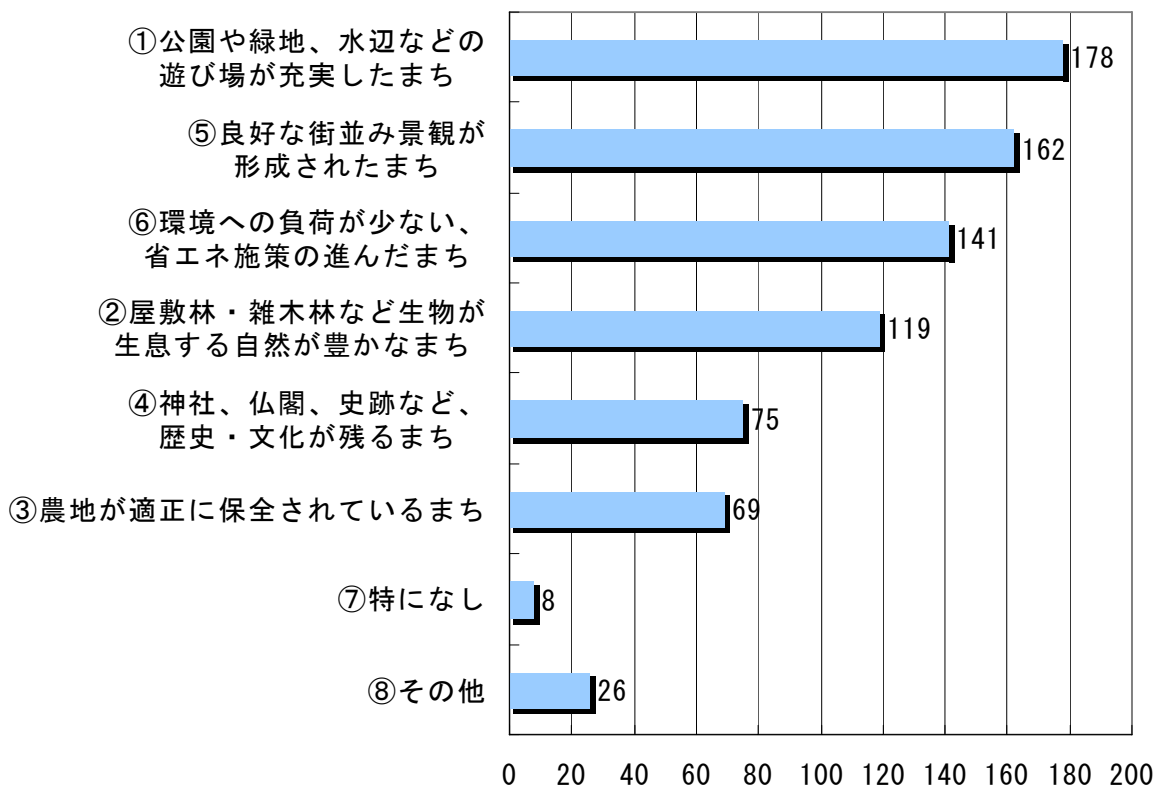


アンケートに答えていただいた方の『お住まいの地域で、どこに緑を増やし充実すべきだと思いますか?』について伺ったところ、「②道路」が一番多い結果となりました。

2位以下は、「①公園」「③河川」「⑨空地」と続きます。

この結果から、都市環境の取組みに関する見直しでは植樹については街路樹等の検討が求められていることがわかります。

2-4-3. このアンケートの調査範囲において、あなたがお住まいの地域がどのような都市環境になって欲しいと望みますか。次の中から選んでください。（複数回答）

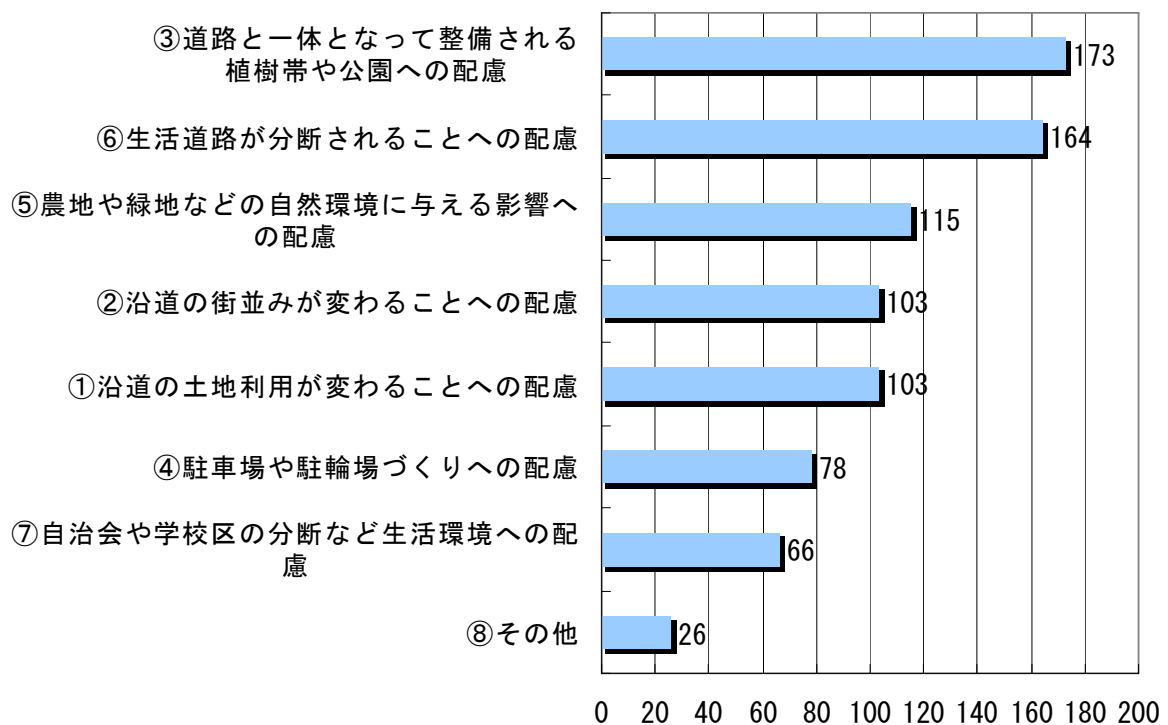


『あなたがお住まいの地域がどのような都市環境になって欲しいと望みますか？』について伺ったところ、「①公園や緑地、水辺などの遊び場が充実したまち」が一番多い結果となりました。

2位以下は、「⑤良好な街並み景観が形成されたまち」、「⑥環境への負荷が少ない、省エネ施策の進んだまち」、「②屋敷林・雑木林など生物が生息する自然が豊かなまち」と続きます。

この結果から、都市環境の取組みに関する見直しでは公園や緑地などの検討が求められていることがわかります。

3. 大泉ジャンクションの南側に整備が予定されている幹線道路についてお聞きします。
- 3-1. この地区に外かく環状道路が整備される際に、特に取り組んで欲しい項目は何ですか。次の中から選んでください。（複数回答）

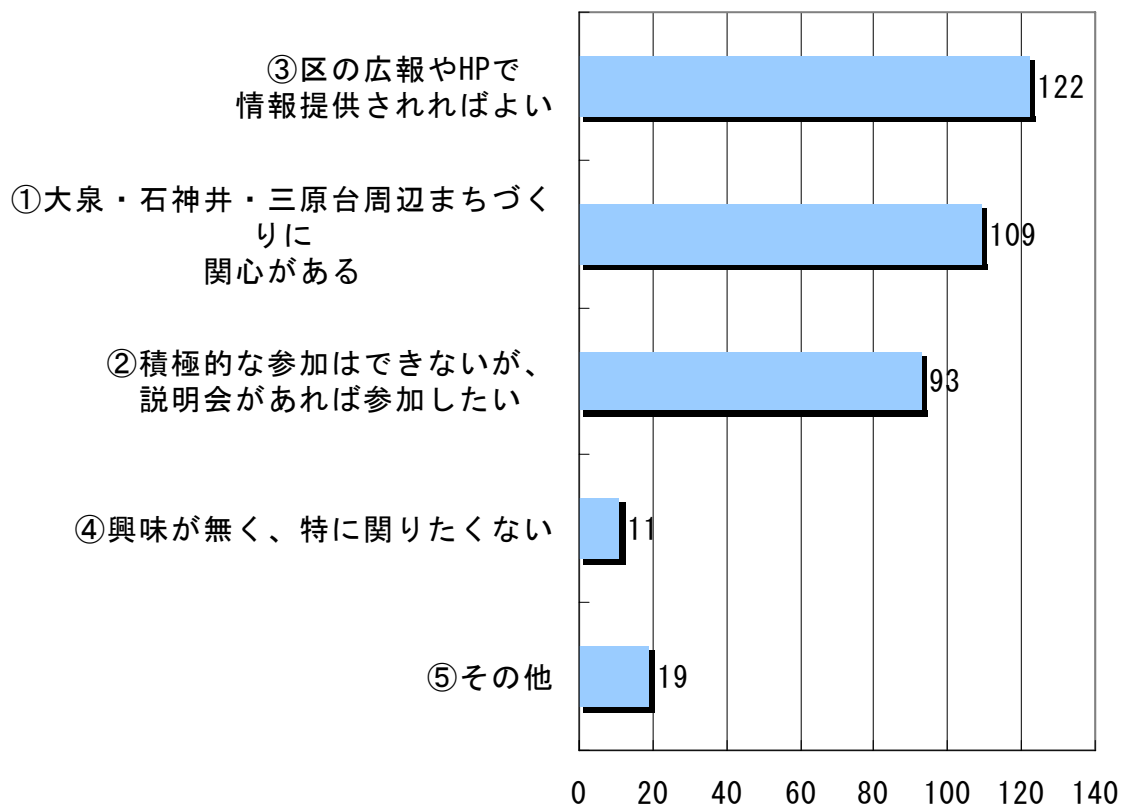


『外かく環状道路の整備の際に取り組んで欲しい項目』について伺ったところ、「③道路と一体となって整備される植樹帯や公園への配慮」が一番多い結果となりました。

2位以下は、「⑥生活道路が分断されることへの配慮」と続きます。

この結果から、都市環境の取組みに関する見直しでは公園や緑地などの検討が求められていることがわかります。

4. 大泉・石神井・三原台周辺まちづくりへの参加についてお聞きします。
- 4-1. 大泉・石神井・三原台周辺まちづくりの推進にあたっては、広く地域住民の皆様のご意見を反映させながら、計画を策定していきたいと考えています。あなたは今後どのような形でまちづくりに参加したいとお考えですか。次の中から選んでください。(単数回答)



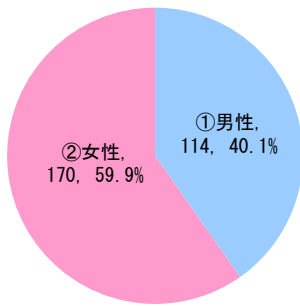
N=354 (複数回答者多数)

まちづくりへの参加として望んでいるのは「③区の情報提供されればよい」が最も多く、次いで「①大泉・石神井・三原台周辺まちづくりに関心がある」でした。

地域の皆様への周知に努めてまいります。

あなた自身についてお聞きします。

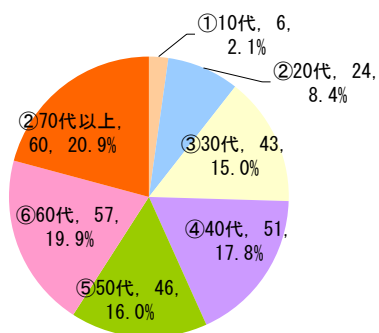
性別



N=284

回答者は、女性の方が多という結果になりました。

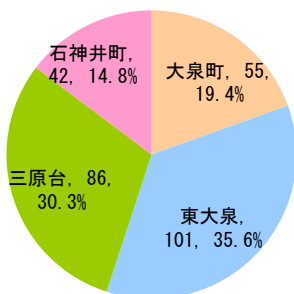
年齢



N=287

回答者は、70代以上がもっとも多いという結果になりました。
次いで60代、40代と続きます。

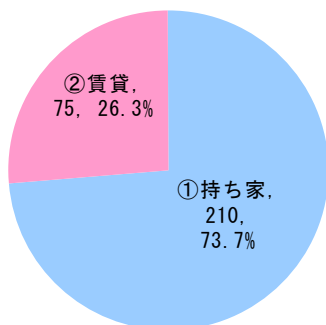
住所



N=284

回答者は、東大泉にお住まいの方がもっとも多いという結果になりました。
次いで三原台、大泉町、石神井町と続きます。

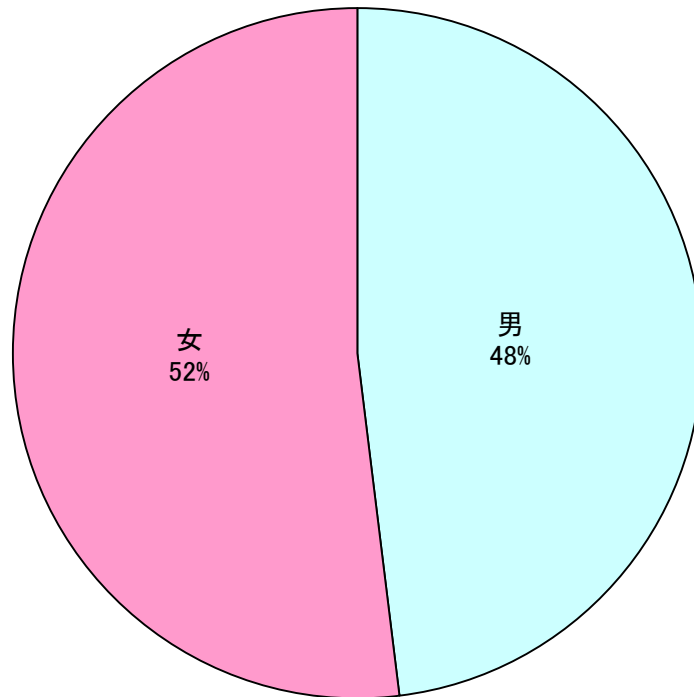
お住まい



N=285

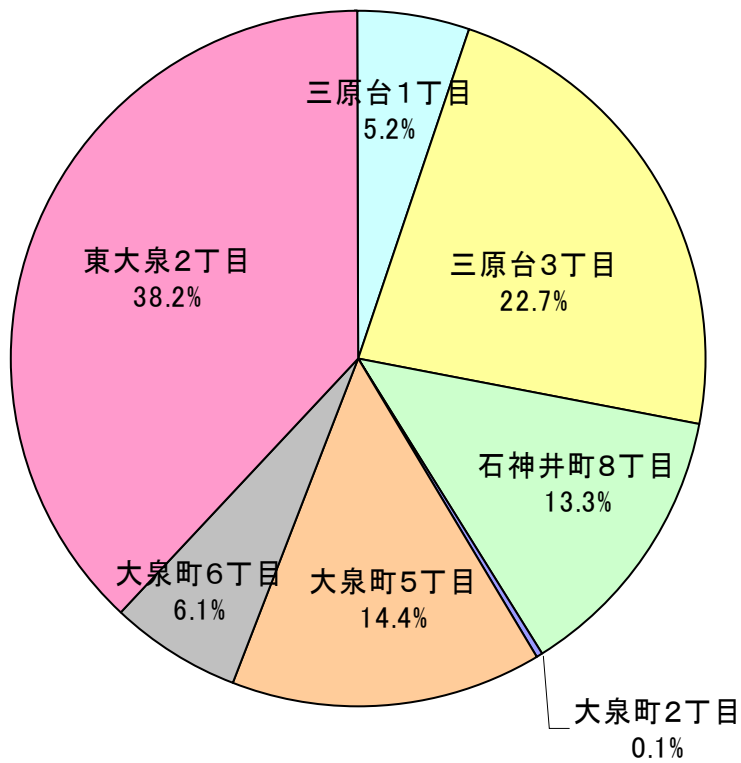
回答者は、持ち家の方が7割強という結果になりました。

アンケート対象者男女比、丁目別比率



N=1048

対象者男女比率



N=1048

丁目別比率